



平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田島 秀二
 (コード番号:7707 東証マザーズ)
 問合せ先 常務取締役 秋本 淳
 (TEL.047-303-4800 http://www.pss.co.jp)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 28 年 2 月 5 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

平成 28 年 6 月期通期連結業績予想の修正 (平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	5,100	△300	△340	△360	△17 円 82 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	4,450	△580	△640	△610	△30 円 19 銭
増 減 額 (B - A)	△650	△280	△300	△250	
増 減 率 (%)	△12.7%	-%	-%	-%	
(参 考) 前 期 実 績 平 成 2 7 年 6 月 期	5,143	△320	△172	△215	△11 円 79 銭

2. 連結業績予想の修正理由

<売上高について>

装置に関して、主に自社販売製品について、予想どおりの販売を達成することが困難な状況となりました。新製品である DNA 自動抽出装置「MagLEAD 6GC/12GC」に関しては、本年 2 月下旬に販売開始となりましたが、それまでの完成の遅れが大きく影響し、期末までの販売予想は計画を大きく下回る見込みとなりました。

同じく新製品である全自動遺伝子診断装置「geneLEAD X II」については、量産開始しているものの、立ち上げ段階にあり、安定生産には細かな問題も残っています。そのため、現状の生産分は OEM 先への供給を優先しており、自社販売分の確保が困難な状況のため、本格的な自社販売を開始するには、もう少し時間が必要な状況となっています。

これら自社販売については、2 月上旬の業績予想の修正時点においては、当初予算から大きな変更をせず、様々な遅れをキャッチアップして予算達成を目指しておりましたが、現時点での営業状況と期末までの残期間を勘案すると予算達成は非常に困難な状況となりました。そのため、装置の販売見込みについては、売上高 2,414 百万円 (予想比△13.5%) と致しました。

試薬・消耗品に関して、装置の使用に伴い消費される性質のため、装置販売の増加に伴う売上拡大を計画していたものの、上記のとおり装置販売の見込みを下方修正することに伴い、試薬・消耗品の販売見込みについても、売上高 1,201 百万円 (予想比△19.1%) と致しました。

概ね、以上のことから、当連結会計年度の売上高予想は、4,450百万円（予想比△12.7%）へと修正いたします。

<損益について>

当第3四半期連結累計期間までの実績に加えて、売上高予想の下方修正に伴い、売上総利益の見込みを1,480百万円（予想比△15.9%）と致しました。

販売費及び一般管理費は、これまでの予想どおり2,060百万円を据え置きました。その結果、営業損失の予想として△580百万円（従来予想は△300百万円）と致しました。

当第3四半期連結累計期間に発生している為替差損や非支配株主に帰属する四半期純損失などを勘案し、経常損失の予想は△640百万円（従来予想は△340百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失の予想は△610百万円（従来予想は△360百万円）と致しました。

なお、通期業績予想に関する第4四半期（4～6月）の為替予想は、3月末のレート水準を適用し、1ドル=112.69円、1ユーロ=127.57円にて換算しております。

3. 今後の見通しについて

当社の主力製品はOEM製品が中心となっておりますが、今後は、DNA自動抽出装置であるMagLEADシリーズや全自動遺伝子診断装置であるgeneLEADシリーズを中心として、更にDNA抽出試薬（将来的には診断用試薬の提供も視野に入れる）も提供することで、自社製品のラインアップを充実し、代理店との協力による販売網を構築することで、自社販売活動にも注力していく所存であります。また、製造工場であるエヌピーエス㈱や大館試薬センター、更に外注先の工場と協力し、当社と一体となって製品コストダウンに注力していく所存であります。

既に、これらの活動を開始しておりますが、当連結会計年度において、実績として有意義な数字を示すまでには至りませんでした。しかしながら、引き続き来期に向けて、積極的に活動してまいりたいと考えております。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上